



公益社団法人 地域医療振興協会 湯沢町保健医療センター

# センターだより 10月号

～ やさしさに 言葉の温度で めくもり添えて ～

〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢 2877-1

TEL (病院) 186-025-780-6543 (歯科) 025-780-6544

URL: <http://www.yuzawamed.jp> Mail: [center@yuzawamed.jp](mailto:center@yuzawamed.jp)



## お知らせ

- ★ センターでは、24時間救急診療を行う体制をとっています。郡市内の救急当番になっていない日(町の広報で当番となっていない時)でも、救急の患者様には対応しております。センターを救急で受診される時は、まずお電話でご相談ください。受診される際は、現在飲んでる薬がわかるもの(お薬手帳など)をご持参ください。
- ★ 風疹ワクチン、MR ワクチン(麻疹風疹混合ワクチン)に関するお知らせです。長期間ご迷惑をお掛けしておりましたが MR ワクチン(麻疹・風疹混合ワクチン)の接種(予約)を再開します。接種予約については病院窓口または電話にてご相談ください。なお、風疹ワクチン(単独)に関しては未だに供給不足の為できません。

## 今月の休診



診療科	日(時間)	曜	医師	診療科	日(時間)	曜	医師
歯科	7日	月	笠原	歯科	5日・19日 午前中 検診の為、休診になる時間帯があります。	土	笠原
地域家庭診療部	16日・17日		井上				
	18日	金	浅井				
整形外科	24日	木	高田				

## 今月の専門外来診察日



診療科	医師	曜	診察日・その他
禁煙外来	担当医師	火・金 (各午後)	完全予約制になります。 186-025-780-6543 で予約してください
コンタクト外来	窪田医師	木	17日、31日 (完全予約制: ☎025-780-6543)
小児科 (アレルギー)	中島	金	4日 (午後は予約患者様のみとなります)
口腔外科	日本歯科大学	水	2日、16日、30日 歯科・口腔外科は予約制となります。 ☎025-780-6544 にお電話ください。

## 高橋医師、離任のご挨拶



地域家庭診療部の高橋毅です。9月末で湯沢を離れることになりました。湯沢での勤務は約2年半になりますが、本当にいろいろなことがありました。着任当初は未熟な面もあり、皆様にご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、医師としてこれまで仕事ができただけで、湯沢のみなさんに支えられたからだと思います。本当にありがとうございました。

10月からは、南魚沼市下一日市にある道の駅の今泉記念館内に、新しく開院する診療所に所長として勤務します。名前は「今泉記念館ゆきあかり診療所」です。診療所でも、湯沢と同様に、赤ちゃんからお年寄りまで、年齢や性別や疾患の種別に関わらずあらゆる健康問題に対応する「総合診療」を基盤に診療を行う予定です。

遠くに行くわけではないですし、湯沢町保健医療センターにも非常勤として勤務する予定です。今後も何かとお会いする事があると思います。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

【ゆきあかり診療所長 高橋 毅】

※離任に伴い、外来診療予定表が変更しております。別紙をご確認ください。

## 研修医師紹介



東京北社会保険病院シニアレジデント1年目の原藤 緑（はらふじ みどり）です。文系の大学を卒業後一度社会にでてから帝京大学医学部に入学し、母校で初期研修を修了しました。医師としては3年目で、日々悩み奮闘しています。湯沢には小学生以来スキーをしに訪れた思い出や東京から転院目的で救急車同乗してきた思い出があり、ご縁を感じます。3ヶ月と短い期間ではありますが、地域への貢献と自分自身の成長を目標に頑張りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。【9/30～1/3 東京北社会保険病院 原藤 緑医師】



東京北社会保険病院研修医の小野葉子です。今月から一ヶ月間、湯沢町保健医療センターで研修させていただきます。生まれは秋田で出身は栃木県です。趣味と特技はマラソンで、過去に8回程フルマラソンを完走しています。嬉しいときや、逆に悩んだ時、音楽を聴きながら歌いながら走っています。湯沢の街でも走っている私を見かける事になるかもしれません。声をかけてください^^。何も分からないことばかりなので、湯沢町の皆様に地域の事についてなど色々と教えて頂きたいです。どうぞよろしくお願いします。

【9/30～10/26 東京北社会保険病院 小野 葉子医師】

## 研修終了ご挨拶



一ヶ月、湯沢町保健医療センターで研修させていただきありがとうございました。この研修では特に湯沢町という地域の特性と、それに対するこの施設の関わり方について学ばさせていただきました。具体的には山間部であり高齢化がすすむこの地域における訪問診療の大切さであったり、診療の前の段階での予防医学が非常に重要であることを痛感しました。患者様だけではなくその周りの家族、近所の方、その方を取り巻く行政、福祉、医療のスタッフ、ひいては地域を丸ごと包括して診るという事をわずかな時間ではありましたが実感することができました。

私は来年度の 2 月、3 月にもこちらで研修させていただくことになっています。それまでにしっかりと医師として今より成長し、そのときは少しでも湯沢の皆様の役に立てるよう精進していく所存です。一ヶ月間本当にありがとうございました。【9/2～9/28 東京北社会保険病院 福山 唯太医師】



湯沢町保健医療センターで、9 月に地域医療研修させて頂きました。1 ヶ月間という短い期間でしたが、普段研修しております市立奈良病院では学ぶことのできない様々な経験を積ませて頂き大変勉強になりました。至らない点も多くスタッフの皆様方には、御迷惑おかけ致しましたが、温かく接して頂き大変感謝しております。湯沢町保健医療センターの益々の御発展を祈願しております。ありがとうございました。【9/2～9/28 市立奈良病院 松田卓也医師】

## 看護の部屋



こんにちは。外来で勤務し始めて 1 年が過ぎました。湯沢に来て一番驚いたのは雪の多さでした。1 歳半になる子供を預けながら仕事と、子育てを両立できているのも協力して下さるスタッフの方のおかげだと思います。まだまだ未熟者ではありますが、これからも頑張りますのでよろしくお願い致します。【外来 看護師 田口 彰子】

## 病院職場体験学習



看護協会主催の「1 日看護師体験」事業に、今年度も 2 名の高校生の方が参加されました。将来は看護師になりたいと言っておられましたので、今回の体験事業を通して、多くのことを感じ取ることができたのではないのでしょうか。将来看護師となって、湯沢で活躍していただきますことを期待しております。頑張ってください！

高校生 1 日看護師体験

また、看護体験実習として塩沢中学 2 年生の 2 名の方に来ていただきました。お二人とも将来の夢がはっきりと決まっており、素晴らしいことだと感心しました。体験見学では、様々な職場を見学していただきましたが、今回の体験が将来の夢の実現に少しでも役立つことを祈っております。これからも、いろいろなことにチャレンジして頑張ってください！ 応援しています。

【看護部長 吹田】



## グリーンカーテン報告

「今年はいいい出来だね～」 「実がたくさんなっているよ～」 今年はいこんなお声をたくさんの方からかけていただき、ありがとうございました。おかげさまでグリーンカーテン大作戦チーム一同「今年はいグリーンカーテンと呼んでもいい出来かな～」とホッとしています。カーテンを大きく育てようと小さいうちに摘んでみたりもしたのですが、翌日にはまた隣の実が大きくなっている・・・という状況に、





作物の生命力には歯が立たないなあと思うことしばし。早朝の黄色い花と花の間を飛び交うミツバチの活躍にも感心しきり。天気や生育具合に一喜一憂し、田畑で作物を育てていらっしゃる皆様のご苦勞をほんのちょびっとだけ垣間見たような気がします。そして、きっと皆様が一番心配してくださっているゴーヤの行方ですが、8月に11年目を迎えた当院のささやかなお祝いに「ゴーヤサラダ」として登場し、職員で美味しく頂きました。今は高く伸びた朝顔が目を楽しませてくれています。もう少し余韻を楽しみ、来年の構想を懲りずに練る予定です。

【栄養室長 諏訪部】

## インフルエンザ予防接種

接種期間・日時

平成25年10月21日（月）～平成25年12月14日（土）  
月曜日～土曜日（祝日、日曜日以外）

※小学生以下は必ず12月7日（土）までに1回目の接種を終わらせてください。  
※ワクチン等の関係でお休みをすることがございます。

受付場所

ホスピタルストリート（正面入口左側）

受付時間

月曜日～金曜日 15時15分～16時30分 接種開始 15時30分  
土曜日 9時15分～11時00分 接種開始 9時30分  
※土曜日は混雑が予想され、待ち時間も1時間～2時間となる場合がございます。

料 金

接種対象者	1回目	2回目
町内65歳以上（接種券持参）	1,050円	
一般（中学生以上）	2,500円	
3歳以上小学生以下	1,500円	1,500円
6ヶ月以上3歳未満	1,250円	1,250円



※ 小学生以下は原則2回接種となります。1回毎のお支払いをお願いします。  
※ 2回目の接種日が3歳の誕生日の前と後では、料金が異なります。

用意する物

接種券（町より配布された方のみ）

服 装

脱衣しやすい服装

注 意 事 項

- ・ A型インフルエンザワクチンとB型インフルエンザワクチンの混合ワクチンとなります。
- ・ あくまでも予防接種ですので、予防接種をしたからといってインフルエンザにかからない訳ではありませんのでご了解下さい。



- ・ 19歳未満の方は必ず保護者又は成人の代理人の署名が必要です。また中学生以下は保護者同伴の上、お越してください。
- ・ 予防接種は効き目が現れるまで約2週間かかり、効果は約5ヶ月です。(個人差があります)
- ・ 接種者が多数の為ワクチンが不足する事もありますので、早めの接種をお勧めいたします。
- ・ 小学生以下は2回の接種が必要です。12月7日までに1回目を済ませ12月14日までに2回目の接種が終わるようお願いいたします。(1回目を12月9日以降接種されても、当院では2回目の接種できませんのでご了承ください)
- ・ 湯沢町に住民票がある方で65歳以上の方は湯沢町より接種券が配布されます。予防接種の際は必ずお持ち下さい。接種券が届いていない方は湯沢町健康福祉課までお問い合わせ下さい。予診票は必ずボールペンで明記してください(鉛筆は不可です)。接種予定日には予診票を記入し、お持ちいただいた方から受付とします。
- ・ 体温はできるだけご家庭で計測してきてください。
- ・ 診察予約時(内科、小児科診察のみ)にも予防接種は可能です。診察予約がある方は各診察室で接種していただくようお願いいたします。整形外科、外科、眼科予約時の接種は行いません。
- ・ ご不明な点がございましたら医師、看護師、総合受付までお聞き下さい。
- ・ 皆様に安全、効率的に接種していただくため、受付順番通りに接種できない事もございますのでご了承ください。

## 投書箱

ご意見ありがとうございます



○何時も親切に診ていただいて有難うございます。

【7月 匿名】

⇒投書いただき、ありがとうございます。今後も地域の皆様のご期待に添えるよう精進致します。

【センター長 浅井】

○障害者駐車場に駐車している車を(健常者)を何とかしてもらいたい障害者の一人です。

【9月 匿名】

⇒ご不便をおかけいたしまして、申し訳ございませんでした。

当センターには正面駐車場1ヶ所、地下駐車場2ヶ所の障害者様専用駐車場をご用意しております。専用駐車場にはそれぞれ、標識を設置しわかりやすくなっております。

下記の駐車スペースは障害者様専用となっておりますので、健常者様の駐車はご遠慮いただきますようお願い致します。

また、センター内の駐車場に無断で長期間駐車している車輛がございます。その際は警察等に届出る事がありますのでご注意ください。ご利用者様のご理解と、ご協力をお願い致します。

【総務課長 林】



障害者駐車場標識



地下 駐車場①



地下 駐車場②



1階 正面駐車場

## 今月の話題



母を亡くしました  
～～～ 東京の空の下から ～～～

女性なら米寿を迎えても全然珍しくない今日、ちょっと短過ぎる生涯でした。息子である私が医師をしていながら、特殊な病気のため、とても手が出せず、専門病院にお願いしていました。

1年前、痛くも痒くもないのに、おどろおどろしい治療なんか受けさせる必要があるのか！と人が変わったように力説する父。直接手は出さないまでも、医師として常識的に考えれば治療せざるを得ないでしょと、決められない母の背をそっと押す私。私の妹弟は、命にかかわる病気なのに、治療しないなんて手があるものか！と半ば泣きそうになって「父を」説得し、私にはボソッと、こんなおかしな父とは離婚すればいいのに、と戯れ言とも本気とも分からないことをこぼしていました。

結局入院予約を取った直後、病院から逃げ出し、相変わらず有象無象の民間療法などを涉猟した挙句、何を思ったか、結構まともな病院を気に入り（いや失礼、結構まともではなくて、本邦有数の専門病院です）、勝手に転院して入院を決めました。後で聞いた話によると、ホームページに「なるべく負担の少ない治療を心掛けます」と書いてあったのが気に入ったとのこと。どこの病院でもそう言うに決まっていますが、入院して治療を受けさせる気になったのなら、何でもいいでしょうと思いました。

治療を受ければ一旦はよくなるものの、すぐにまた元の木阿弥。だんだん旗色が悪くなってきて、もう打つ手がないと言われ、治療は私のような普通の医師から見たらミステリーの領域に突入しました。冷静に考えれば「死」が頭をちらつきながらも、家族として奇跡を願う気持ちは皆同じ。入院するまでのすったもんだはあったものの、父の献身的な看病は言葉に尽くせぬほど。父の存在がなかったら、母はもっとあっさり病気にやられてしまったことでしょう。

病院の先生はたくさんの患者を担当しているので、一人一人にゆっくりと病状を説明するなんて不可能です。そこは私がたまたま医師でよかった。生来、若干、粘着質の父に、それこそ「納得の行くまで」私が病状を説明しました。時には夜が更けるまで。母なき余生への軟着陸を図るため、心のケアにも生前中から心掛けました。たまたま医師をしているからこそできたことでもあり、一方で仕事として自ら担当している患者および家族に対しては、ちょっと普通はできないことです。自分の担当患者の死を前提にした対応なんてねえ。ホスピスでもない限り。

見えていた話ではありますが、やはり最期の時というものが静かに訪れました。気のせいでしょうか、家族一同、取り乱すほど悲嘆に暮れるということはなかったように思います。特に私、心臓が止まったからといって特別な感慨はほとんどなく、意識不明となった時点から既に私の悲しみは始まっていたし、自分でもそれが分かっていました。これは一種の職業病なのでしょうか。いや、非医療職である他の家族も同様だったのかも。「突然死ぬのは、やりきれない。だんだん死ぬのが最高だ」とか言う人がいますが、もしかしたらこういうことなのか、とも思いました。

母は私に、身を賭して医師としての精神性の成長をはかったつもりになっているのかもしれませんが、でも残念。家族と患者は違います。学ぶところはありましたが、これを職業上に生かすということは、ありそうにないです。余計なこと考えないで長生きして、ひ孫の顔も見せてやってほしかった。息子なら当然こう思います。

【台東区立台東病院 医師 今井 康友】